

**第4期桑名市障害者計画・
第6期桑名市障害福祉計画・
第2期桑名市障害児福祉計画
アンケート調査結果報告書**

令和2年7月

三重県 桑名市

1 調査の目的

障害者基本法第11条第3項の規定に基づく桑名市障害者計画及び、障害者総合支援法第88条の規定に基づく桑名市障害福祉計画ならびに児童福祉法第33条の20第1項の規定に基づく桑名市障害児福祉計画（以下、桑名市障害者計画及び桑名市障害福祉計画ならびに桑名市障害児福祉計画を併せて桑名市障害者計画等という。）を策定するうえで必要となるニーズ等の把握や第4期計画の課題整理等の基礎資料とするため、市民等を対象とするアンケート調査を行うものです。

2 調査の実施方法と配布・回収状況

（1）調査対象者と調査件数

調査対象者と調査件数は、以下のとおりです。

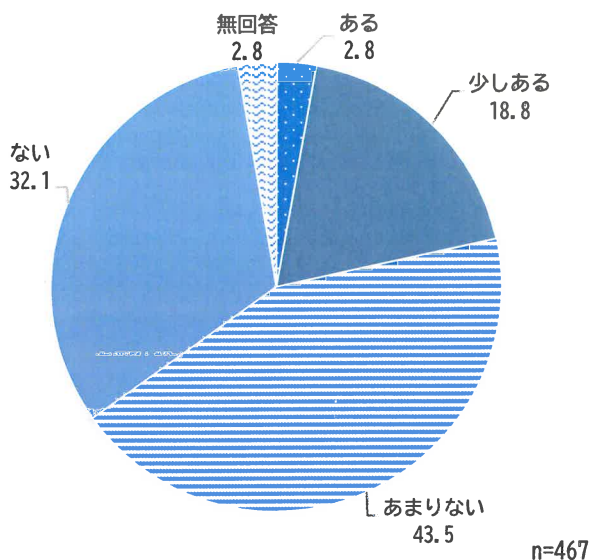
	①一般市民	②障害者	③障害児	④46人以上 事業者	⑤45人以下 事業者
配布数	1,000 件	3,600 件	400 件	100 件	200 件
抽出方法	満 18 歳以上の市民から無作為抽出	満 18 歳以上の障害者手帳所持者から無作為抽出	満 18 歳未満の障害者手帳所持者から無作為抽出	市内に登録のある事業所	
調査手法	郵送	郵送	郵送	郵送	郵送
回収数	467 件	1,874 件	197 件	58 件	83 件
回収率	46.7%	52.1%	49.3%	58.0%	41.5%

（2）調査時期と調査方法

アンケート調査は、令和元年12月9日～20日にかけて実施しました。配布・回収については郵送で行いました。

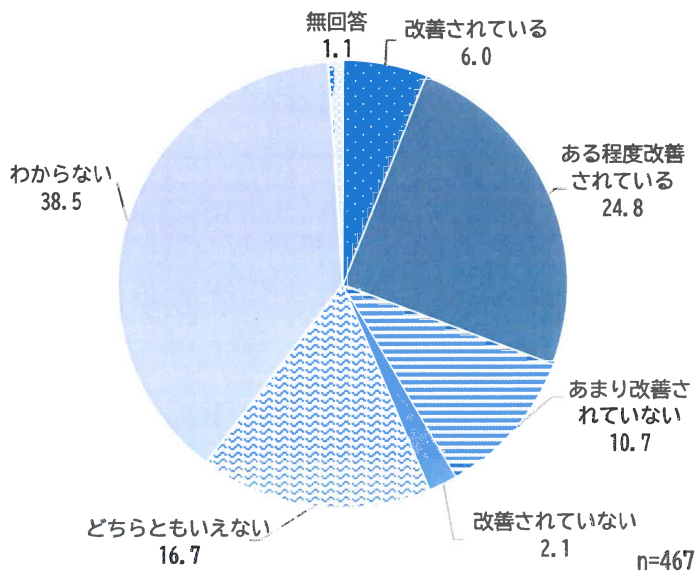
問9 平成26年1月に障害者権利条約を批准（締結）し、平成28年4月には障害者差別解消法が施行されました。あなたのお住まいの地域や職場などにおいて、障害のある人に対する差別や偏見を感じますか。（○は1つ）

「あまりない」（43.5%）が最も多く、次いで「ない」（32.1%）、「少しある」（18.8%）となっています。



問10 5年前（平成26年・西暦2014年）と比べて障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。（○は1つ）

「わからない」（38.5%）が最も多く、次いで「ある程度改善されている」（24.8%）、「どちらともいえない」（16.7%）となっています。



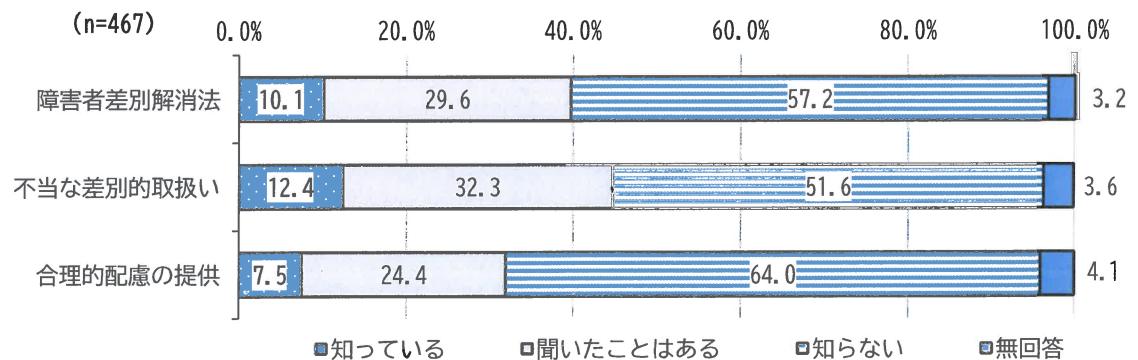
問11 障害者差別解消法では障害のある人に対する「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」について示されていますが、あなたをご存知ですか。（それぞれ1つに○）

※ 障害者差別解消法は、障害を理由とする差別を禁止する法律です。差別解消のための措置として「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」の2つを定めています。

※ 「不当な差別的取扱いの禁止」とは、障害のある人に対して、その障害を理由として正当な理由なく、財・サービスや各種機会の提供を拒否したり、場所や時間帯などを制限したり、障害のない人に対しては付けられない条件を付けることを指しています。

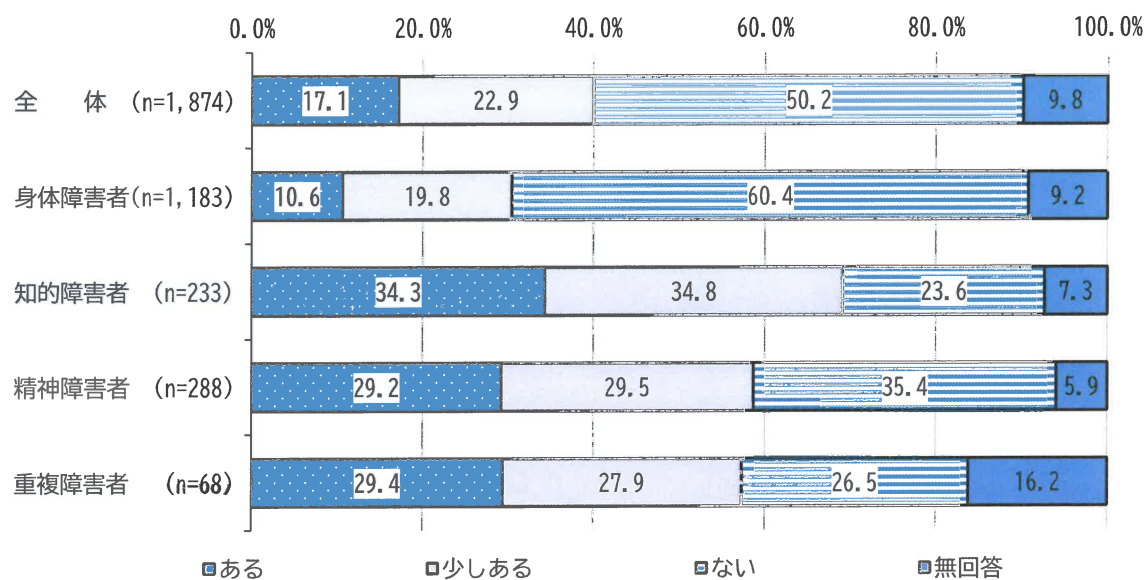
※ 「合理的配慮の提供」とは、障害のある人にとっての社会的障壁をなくすために行われる、個別の対応や支援を指しており、行政機関には法的義務を、民間事業者には努力義務を課しています。聴覚障害のある人に声だけで話をしようしたり、視覚障害のある人に書類を渡すだけで他の伝達手段を用意しなかったり、知的障害のある人にわかりやすい説明をしないといったことは、「合理的配慮の提供」を怠ったと見なされます。

全ての項目で「知らない」が最も多く、次いで「聞いたことはある」、「知っている」となっています。



問43 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つ）

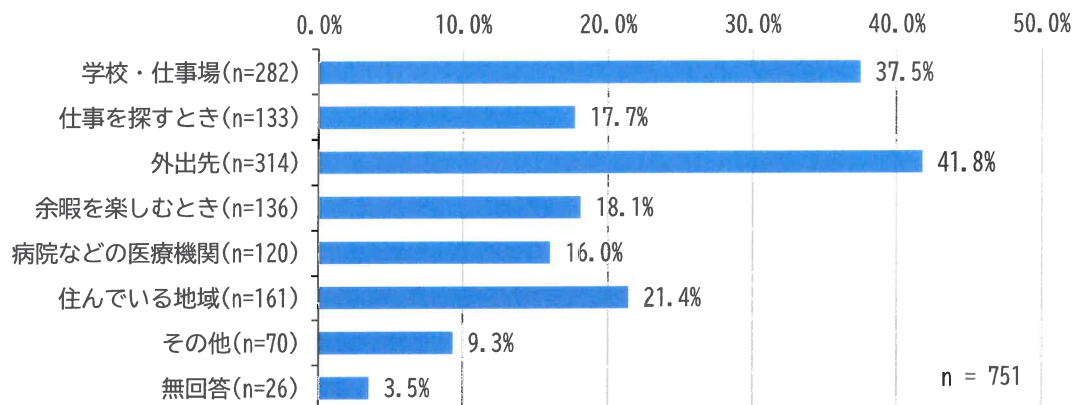
「ない」（50.2%）が最も多く、次いで「少しある」（22.9%）、「ある」（17.1%）となっています。



【問43で、1 または2 と選択した場合にお答えください。】

問44 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

「外出先」(41.8%) が最も多く、次いで「学校・仕事場」(37.5%)、「住んでいる地域」(21.4%) となっています。

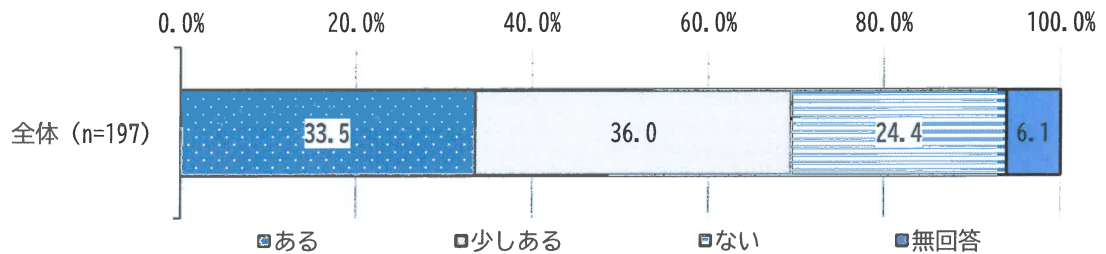


単位：%

		有効回答数 (件)	学校・仕事場	仕事を探すとき	外出先	余暇を楽しむとき	病院などの医療機関	住んでいる地域	その他	無回答
全体		751	37.5	17.7	41.8	18.1	16.0	21.4	9.3	3.5
障害の状況	身体障害者手帳	359	25.6	13.6	45.7	20.1	16.7	17.8	10.3	3.9
	療育手帳	161	62.7	9.9	45.3	14.9	12.4	21.1	3.1	2.5
	精神保健福祉手帳	169	40.8	36.7	26.6	16.6	18.3	28.4	11.8	3.0
	重複障害者	39	28.2	7.7	59.0	17.9	10.3	20.5	12.8	2.6

問37 お子さんは障害があることで差別やいやな思いをする（した）ことがありますか。
（○は1つ）

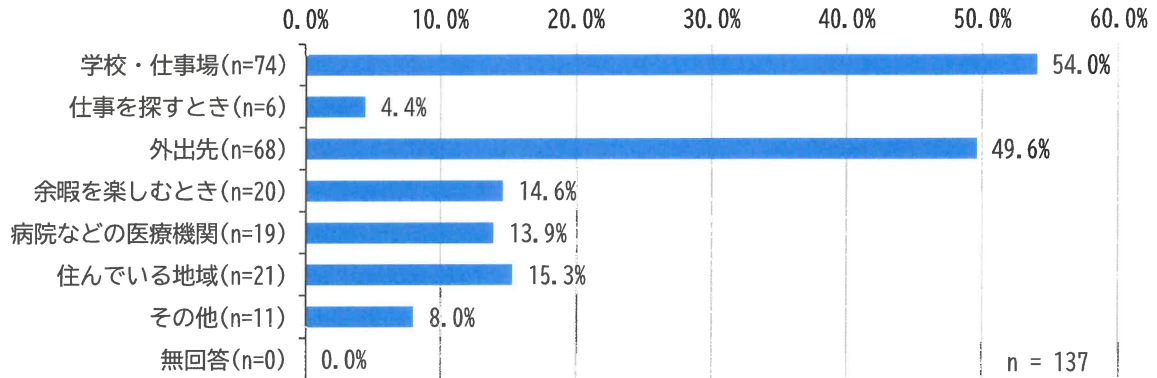
「少しある」(36.0%) が最も多く、次いで「ある」(33.5%)、「ない」(24.4%) となっています。



【問37で「1」または「2」と回答された方にお伺いします。】

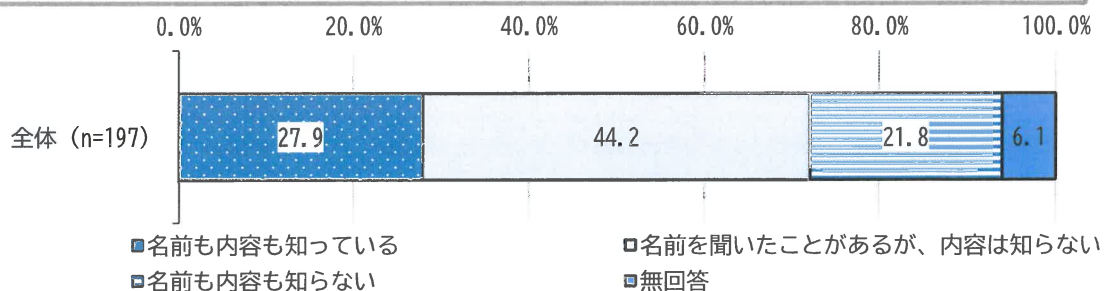
問38 どのような場所で差別やいやな思いをしましたか。（あてはまるものすべてに○）

「学校・仕事場」(54.0%) が最も多く、次いで「外出先」(49.6%)、「住んでいる地域」(15.3%) となっています。



問39 成年後見制度について知っていますか。（○は1つ）

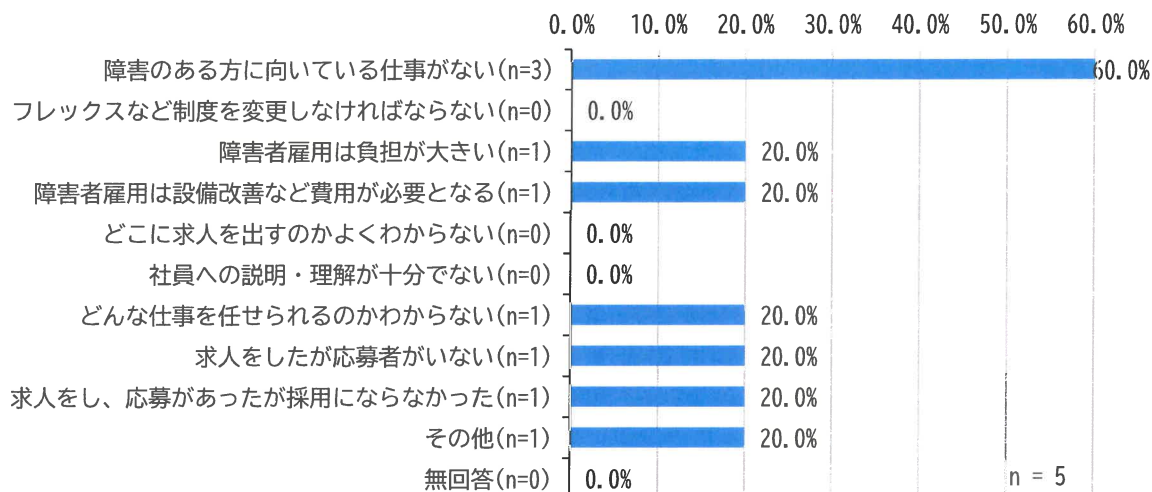
「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」(44.2%) が最も多く、次いで「名前も内容も知っている」(27.9%)、「内容も名前も知らない」(21.8%) となっています。



【問11で「2 ない」と答えた事業者にお聞きします】

問13 障害のある方を雇用していない理由は何ですか。(〇は3つまで)

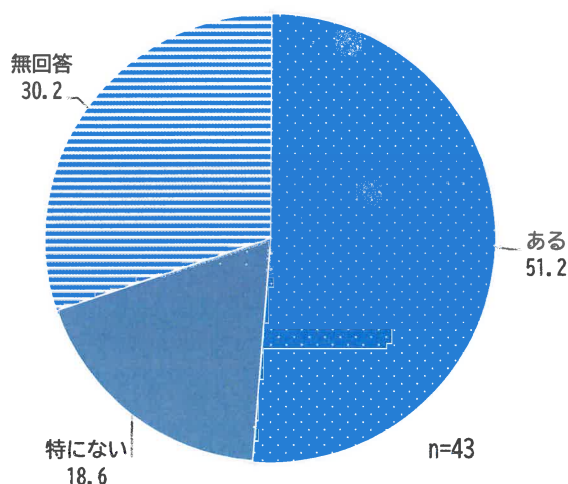
「障害のある方に向いている仕事がない」(60.0%)が最も多く、次いで「障害者雇用は負担が大きい」(20.0%)、「障害者雇用は設備改善など費用が必要となる」(20.0%)、「どんな仕事を任せられるのかわからない」(20.0%)、「求人をしたが応募者がいない」(20.0%)、「求人をし、応募があったが採用にならなかった」(20.0%)、「その他」(20.0%)となっています。



【現在、障害のある方を雇用している事業者にお聞きします】

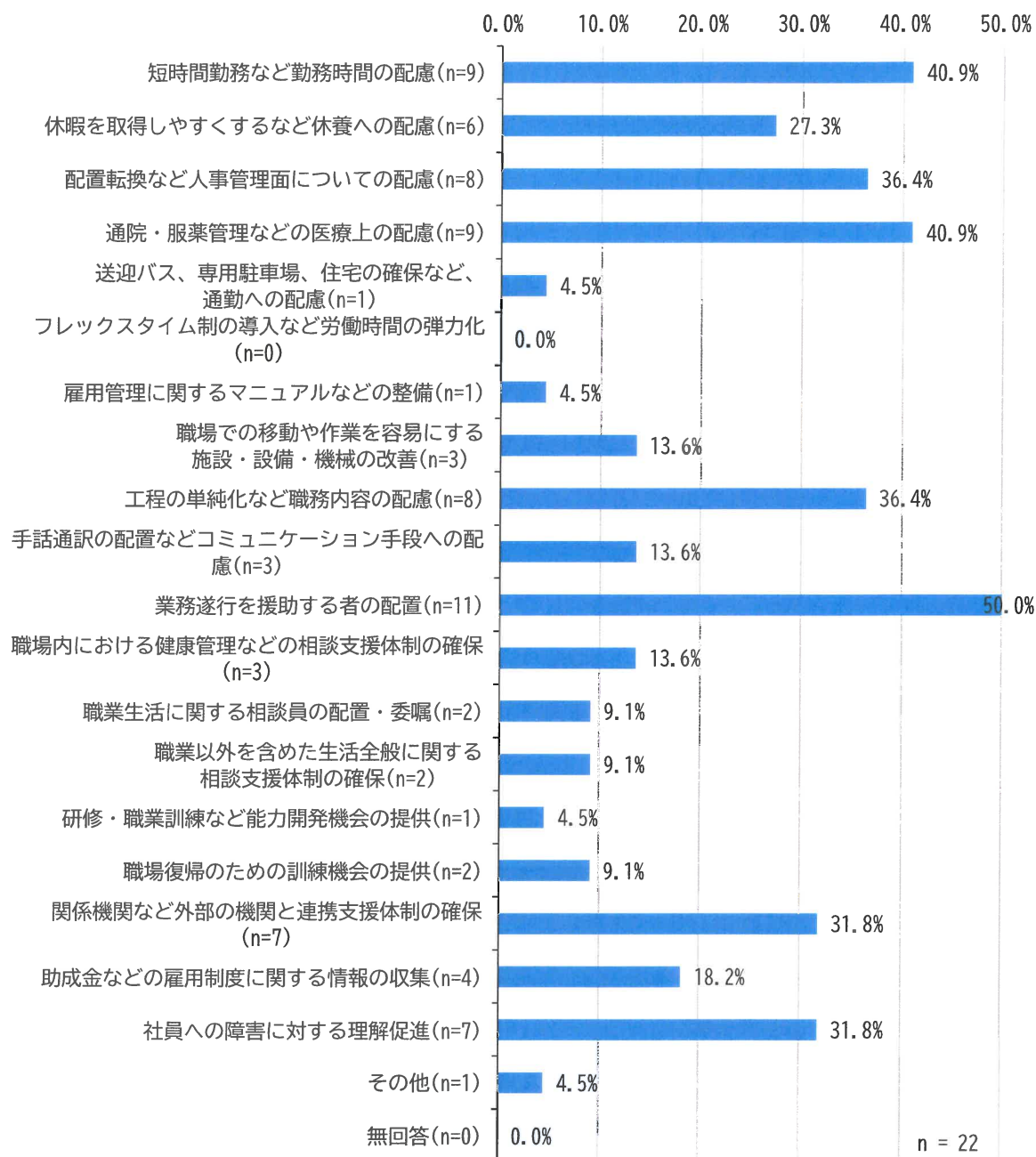
問14 障害のある方の採用にあたって、配慮したことはありますか。(〇は1つ)

「ある」(51.2%)、「特にない」(18.6%)となっています。



問15 配慮したことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「業務遂行を援助する者の配置」(50.0%)が最も多く、次いで「短時間勤務など勤務時間の配慮」(40.9%)、「通院・服薬管理などの医療上の配慮」(40.9%)となっています。



問16 障害のある方を雇用する上で、貴社で工夫している内容をお書きください。

〔抜粋〕

①身体障害者

- ✓ 立ち仕事を減らす ・筆談やチャットの利用によるコミュニケーション
- ✓ 本人の負担軽減のため、入職時は短時間勤務からスタート。本人の意欲を尊重し、周囲の職員にサポートをしてもらいながら、希望があれば勤務時間を少しずつ延ばしている。
- ✓ 聴覚障害の方へのタブレット、集音マイクの貸与

②知的障害者

- ✓ 毎月外部専門員との面談を行っている
- ✓ 一度にたくさんの事を指示しない
- ✓ 本人の負担軽減のため、入職時は短時間勤務からスタート。本人の意欲を尊重し、周囲の職員にサポートをしてもらいながら、希望があれば勤務時間を少しずつ延ばしている。
- ✓ 業務を習得する期間を長期に設定し、一つずつ業務をこなしていく。
- ✓ 複雑な業務を担当させない。

③精神障害者

- ✓ 声かけを定期、不定期にこまめに行う
- ✓ 休暇取得の臨機応変な対応
- ✓ 体調に合わせた出勤調整
- ✓ しごとサポーター制度の導入

④①から③以外の障害者

- ✓ 治療優先
- ✓ 本人の負担軽減のため、入職時は短時間勤務からスタート。本人の意欲を尊重し、周囲の職員にサポートをしてもらいながら、希望があれば勤務時間を少しずつ延ばしている。
- ✓ 時間管理に注視している